



「指差しコミュニケーションボード in お買い物」の現在地

「何て言われているのかわからなくて、一人でコンビニに行きたくない。」 最近、「きこえの相談」に来た生徒さんからこんな正直な声を聞きました。

「なるほど・・・でも私と同じだ」と思いました。私には聞こえにくさはありませんが英語ができません。もし、私がアメリカのコンビニで買い物したらどうでしょう。何を言われているかわからず、とりあえず「Yes、Yes」と言っているはず。そして、手元には「いりません」と言えずにもらった砂糖とミルク。そんな光景が浮かんできたのです。そう、私だってアメリカに行けば立派な情報弱者。聞こえにくい方と同じ「コミュニケーション弱者」なのです。それでなくても年をとったら高齢者。日本にいても「コミュ弱者」。

そう思いいろいろ調べてみると、ありました、ありました。日本のコンビニには、お店にもよりますが、聞こえにくい方のための「指差しコミュニケーションボード」なるものがちゃんとあるのです。

当初は、聴覚障害者を対象にしたボードだったようですが、次第に高齢者にも、そして2024年には日本語がわからない外国人も使える多言語対応のものにリニューアルされています。障害者というくくりではなく高齢者や外国人など「コミュ弱者」という、ユニバーサルな視点で世の中が動いていることに感銘を受けました。

ちなみに、私がよく行くコンビニの店員さんによると、「使う方の中には聞こえない人もいるのですが、高齢の方にこのボードを使ったことがあります」とのこと。店員さんもこのボードに助けられたのでしょうか。まさに「コミュ弱者」だけでなく、店員さんも含めみんなの「指差しコミュニケーションボード」です。みんなでどんどん使っていきましょう。私のために、あなたのために、そしてみんなのために。

「初鵜 生きるに遠慮が いるものか」と花田春兆は言いました。

「コミュボード 話すに遠慮が いるものか みんなで使えば こわくない」ですね。

コンビニ以外にもいろいろな場所でコミュニケーションボードが出ています。ぜひ検索してみてください。

第5回 鹿児島きこえの交流会

～ つながろう! 難聴のなかま 2026 in 聾学校 ～

5月23日(土)本校の運動会に地域の難聴の仲間が集まり、聾学校の子も達と一緒に「じゃんけん列車」や「玉入れ」を楽しみました。子供たちの笑顔に誘われ、地域の方や本校職員も飛び入り参加。

明るく賑やかな歓声が青空に響き渡る時間となりました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。



鹿児島県立鹿児島聾学校

【代表】TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211

聴覚相談センター

【直通】TEL 099-228-2300 FAX 099-228-2311

お気軽に ご相談ください(^_-)☆

★ 相談は無料です。

★ 相談内容に関する秘密は厳守します。

★ すべての支援事業は聾学校への就学を勧めるものではありません。